（別記）

令和８年度笠置町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本町は四方を山に囲まれ山地が８０％を占める地形のため、農地は山腹丘陵地や谷間に開かれた小規模な農地が大半を占めている。そのため、農家のほとんどが小規模であり、主として主食用水稲、野菜の生産が行われているが、いずれも自給的で生産規模も小さく、高齢化に伴う担い手不足も深刻化している。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

「花菜」「とうがらし」を振興品目として、技術指導により収量の安定及び質の向上を図り、作付け面積を拡大する。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

農地の作付状況について、水田台帳等を用いて定期的に点検し、また再生協議会員による作付けの目視による点検を実施する。地域の意見をまとめた地域計画などに基づき、笠置町における将来の農地活用方法について畑地化も含めた検討を進める。

４　作物ごとの取組方針等

（１）主食用米
適地適作を基本として、消費者ニーズに応じた品種の作付や需給動向を勘案して計画的な生産を行う。

（２）非主食用米
ア　新市場開拓用米
産地交付金を活用し、米の新市場開拓を図る。

（３）高収益作物
「花菜」「とうがらし」を振興品目として、技術指導により収量の安定及び質の向上を図り、作付け面積を拡大する。

５　作物ごとの作付予定面積等　～　８　産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

別紙

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	13.12		12.1		13	
備蓄米						
飼料用米						
米粉用米						
新市場開拓用米						
WCS用稲						
加工用米						
麦						
大豆						
飼料作物						
・子実用とうもろこし						
そば						
なたね						
地力増進作物						
高収益作物	0		0.1		0.3	
・野菜	0		0.1		0.3	
・花き・花木						
・果樹						
・その他の高収益作物						
その他						
・〇〇						
畑地化						

６　課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標		
				前年度（実績）	目標値
1	・花菜 ・とうがらし	対象作物作付助成	対象作物作付拡大	（7年度） 0	（8年度） 0.3

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：京都府

協議会名：笠置町農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	対象作物作付助成	1	10,000	花菜、とうがらし	同一年に水稲が作付けされていないこと

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。